

保護者負担軽減計画について

< 京都府提出資料 >

学校名	同志社女子高等学校
所在地	京都市上京区今出川通寺町西入
電話番号	075-251-4305

(1) 建学の精神	新島襄のめざす、キリスト教主義教育・良心教育を行うことを目的とする。																																							
(2) 本校の特色及び 将来展望	同志社大学・同志社女子大学の定める条件を満たせば、内部推薦資格を与えられる。他大学も含む理系学部への進学をめざすワイルド・ローヴァーコース（WRコース）と、同志社系列への推薦進学を中心とするリベラル・アーツコース（LAコース）がある。同志社における女子教育によって、広く社会に貢献する心豊かな女性の育成を目指す。																																							
(3) ・ 令和 8 年度納付金 ※学科やコースによって 納付金に差異がある場合 は最低額を計上。 ・ 今回改定 なし ・ 前回改定 平成25 年度	<table><tr><td rowspan="2">【 1 年 生 】</td><td>入学金</td><td>施設拡充費 (入学時)</td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計 (入学時除く)</td><td>考査料</td></tr><tr><td>外部生130,000 内部生110,000</td><td></td><td>670,000</td><td>130,000</td><td>800,000</td><td>20,000</td></tr><tr><td rowspan="2">【 2 年 生 】</td><td colspan="2"></td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>670,000</td><td>130,000</td><td>800,000</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">【 3 年 生 】</td><td colspan="2"></td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>670,000</td><td>130,000</td><td>800,000</td><td></td></tr></table> ＊施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、P T A、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。	【 1 年 生 】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料	外部生130,000 内部生110,000		670,000	130,000	800,000	20,000	【 2 年 生 】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				670,000	130,000	800,000		【 3 年 生 】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				670,000	130,000	800,000	
【 1 年 生 】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																	
	外部生130,000 内部生110,000		670,000	130,000	800,000	20,000																																		
【 2 年 生 】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			670,000	130,000	800,000																																			
【 3 年 生 】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			670,000	130,000	800,000																																			
・ 今後の納付金に 対する考え方	共学化・少子化等厳しい状況にはあるが、経営環境の改善のために人件費や内部管理経費の削減に取り組む。納付金については値上げを行わず、据え置きとする。言うまでもなく収入は、生徒に対してよりよい教育環境を提供するために充ててゆく。																																							
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	教育内容については、英語教育に一層の充実をはかり、TOEICを全学年で実施している。また、安全な教育環境を保つため、既存校舎の改良に努める。ICT教育設備の充実を図り、教育の質をさらに高める。																																							
(5) 令和 8 年度の保護者 負担軽減策及び考え方	従来からの姿勢（低所得者世帯の負担軽減）を変えことなく、保護者負担軽減策の検討を行う。 なお、学校独自の奨学・修学支援制度は以下の通り。 ・同志社女子中学校・高等学校奨学金、古田務奨学金、金岡利子奨学金 ・同志社同窓会奨学金、ミス・デントン記念奨学金																																							
(6) 今後 5 年程度の保護者 負担軽減計画	引き続き財務体質の強化、経営環境の改善を図りつつ、生徒・保護者・社会に対して魅力ある同志社女子高等学校像について、学内はもとより学外・地域社会にも意見を求め、寄付金の増収につなげることも検討している。以上を通じて可能な状況となれば、保護者負担削減策の追加策定に取り組みたい。																																							